

# 果樹情報

No 5

R5.7.11

後志農業改良普及センター北後志支所

- 生育は平年よりどの樹種も進んでいます。
- 病害虫の発生しやすい環境になりますので防除間隔に注意してください。
- 農薬散布は収穫前日数、総使用回数、希釈倍率をよく確認しましょう。
- 雑草は元気よく伸びてきています。

## りんご

- ・摘果が遅れないように、着果量が多ならないように摘果作業を行いましょう。
- ・肥大が良いので、ビターピット対策もお忘れ無く
- ・モモシンクイガの発生が増加してきています。防除間隔に注意してください。
- ・ハダ二類の発生にも十分注意してください。
- ・腐らん病は見つけ次第切り取り、削りかすも適切に処分しましょう。

## なし

- ・摘果が遅れないように、着果量が多ならないように摘果作業を行いましょう。
- ・「オーロラ」は隔年結果している樹が多く見られています。
- ・黒点病の果実病斑が見えてくる頃です。今後も十分な防除対策をとりましょう。
- ・モモシンクイガの発生が増加してきています。防除間隔に注意してください。
- ・ハダ二類の発生にも十分注意してください。

## おうとう

- ・果肉の軟化やウルミ果にならないように適期収穫に努めましょう。
- ・オウトウショウジョウバエ、灰星病の発生に注意しましょう。

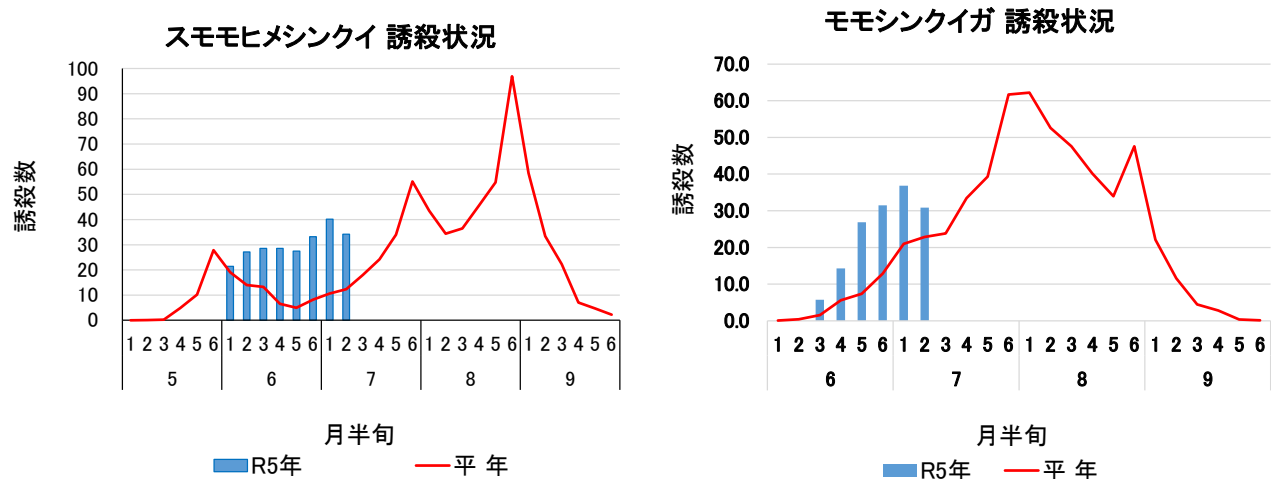
## プルーン

- ・着果の少ない樹が見られますが、部分的に団子状になっている所もあります。
- ・収穫時に果実同士が触れ合わない程度の間隔は最低限必要です。
- ・スモモヒメシンクイ、灰星病の発生に注意しましょう。

## ぶどう

- ・ハウスでは摘粒作業と新梢管理、露地ぶどうでは新梢管理と第2回目のジベレリン処理、醸造用ぶどうは新梢管理、除草管理を徹底しましょう。
- ・灰色かび病、べと病、コガネムシ類、ハダ二類の発生に注意しましょう。

## 予察情報



スモヒメシンクイ、モモシンクイガの発生状況は普及センターの HP 又は JA の選果場 掲示板で確認出来ます。

## スズメバチ対策

- ここ数年、収穫が始まる秋口に被害が多く見られます。
- 7月いっぱいまで、誘引捕獲器で女王バチを捕獲することが効果的です。

## ストップ農作業事故！！

- 摘果、収穫など、特に高所での作業は安全第一
- 農作業機械は、安全点検と安全走行
- 水分補給や休憩を取って「熱中症」対策も万全に！！